

## 第32回技術研究発表会・特別講演会 プログラム

2020.11.20現在

日時：令和2年11月20日（金）12時30分～18時30分

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 会長：高橋 洋二

会場：オンライン開催（ウェビナー）

（副会長）技術研究発表委員長・論文審査委員長：中村 英夫

受付：各10分前から受付開始予定

技術交流部会長：井上 俊幸

テーマ：都市のレジリエンスを支え連携して未来を創る技術

共通		
時間	ウェビナー会場	内容
12:20 開場		開会式 受付開始
12:30 ~12:40	開会式	開会式 ・主催挨拶 U I T会長 高橋 洋二 （東京海洋大学名誉教授） ・来賓挨拶 国土交通省 大臣官房技術審議官 渡邊 浩司 氏
		I論文 IIプロジェクト・技術報告 発表
12:45 ~14:50	ROOM 1	A：環境・エネルギー
12:45 ~14:50	ROOM 2	B：情報・防災・交通 D：プロジェクト・技術報告（1）
12:45 ~14:50	ROOM 3	C：都市の再興・まちづくり D：プロジェクト・技術報告（2）
14:55 ~16:50	ROOM 4	E：共通セッション テーマ：防災・減災・復興に取り組む新たな発想
16:55 ~18:10	特別講演会	特別講演会 タイトル：スマートシティを考える ～スマートシティWG報告～ ・講師：東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 氏 （U I T副会長）  【報告】スマートシティ・ワーキンググループ Aグループ（対象エリア：千葉県木更津市） 報告者：吉本憲生 氏 コメント：絵内祐樹 氏  【報告】スマートシティ・ワーキンググループ Bグループ（対象エリア：東京都江東区） 報告者：鶴見一郎 氏 コメント：飯村治子 氏
18:15 ~18:30	閉会式	閉会式 ・講評・表彰：論文審査委員長 中村 英夫 （日本大学教授・U I T副会長） ・部会長挨拶：技術交流部会長 井上 俊幸 （三菱地所株式会社 執行役員 都市計画企画部長）

\* 発表内容の詳細については、  
次頁をご覧ください

\*記載内容詳細は変更になる場合があります

主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

後援：国土交通省、東京都、公益財団法人都市活力研究所、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人都市みらい推進機構

CPD認定プログラム

申請済 土木学会

申請済 日本都市計画学会



■ 第32回技術研究発表会 I論文・IIプロジェクト・技術報告 発表・著者 一覧

Webinar

2020.11.20現在

ROOM1

A:環境・エネルギー

時間	発表No.	所属	氏名	タイトル	種別	査読部門
12:45 ~13:05	A01	清水建設株式会社	久保 昌史*	ポリウレア樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術	I 論文	A
		日本工営株式会社	輿石 正己			
		三井化学産資株式会社	井出 一直			
13:05 ~13:25	A02	清水建設株式会社	杉本 浩一* 小槻 祥江 磯田 和彦 牛坂 伸也	コア貫通型複層免震架構の研究	I 論文	A
13:25 ~13:45	A03	株式会社竹中工務店	高井 勇志* 菊池 卓郎 田中 規敏 粕谷 貴司 西園 健吾 頼光 拓真 濱中 南咲 青野 敏紀	ヒューマンファクターと人工知能を用いた次世代建物制御システム	I 論文	A
5分						
13:50 ~14:10	A04	株式会社日建設シビル	中島 直弥*	気候変動適応に向けたコペンハーゲン市クラウドバーストプランの活動実態に関する研究	I 論文	A
		熊本大学	星野 裕司			
		株式会社日建設シビル	八木 弘毅 大川 雄三			
14:10 ~14:30	A05	独立行政法人都市再生機構	渡邊 安輝*	草加松原D街区での雨水流出抑制対策の取組み	I 論文	A
14:30 ~14:50	A06	三菱地所株式会社/一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会	北村 真志*	大丸有地区における環境データを活用したWEBサービス ～日陰で快適な外歩き「TOKYO OASIS」～	I 論文	A
		三菱地所株式会社	松井 宏宇			
		Pacific Spatial Solutions株式会社	八十島 裕* 伊勢 紀			
		株式会社三菱地所設計	植田 直樹 田代 英久 中条 瑛子			

Webinar

B:情報・防災・交通 D:プロジェクト・技術報告 (1)

ROOM2

時間	発表No.	所属	氏名	タイトル	種別	査読部門
12:45 ~13:05	B01	株式会社竹中工務店	曾根 孝行* 山本 雅史 吉澤 睦博	免震建物の免震層モニタリングシステムの開発	I 論文	B
13:05 ~13:25	B02	一般財団法人計量計画研究所	木全 淳平* 福本 大輔 加藤 昌樹 磯野 昂士 宮木 祐任	大丸有地区における駐車場整備に関する地域ルールとその効果	I 論文	B
		大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会	渡邊 仁			
13:25 ~13:45	B03	国土交通省 国土技術政策総合研究所	河井 裕紀* 新階 寛恭 吉田 純土	Wi-Fiパケットセンサーを用いた歩行流動観測に関する研究	I 論文	B
		岡山市	中西 賢也			
		一般財団法人計量計画研究所	森尾 淳			
5分						
13:50 ~14:10	D01	鹿島建設株式会社	加藤 篤史 田中 宏幸* 忽那 知輝	羽田イノベーションシティにおけるスマートシティの社会実装 - 「3D K-Field」による空間情報データ連携基盤の構築と活用 -	II 報告	-
14:10 ~14:30	D02	鹿島建設株式会社	三浦 悟*	建設機械の自動化を核とした次世代建設生産システムA4CSEL	II 報告	-
14:30 ~14:50	D03	大成建設株式会社	菊池 大輔*	公園まちづくり制度を活用した都市計画公園・緑地の変更	II 報告	-

\*印：発表者 <敬称略>

発表順等詳細は変更になる場合があります

発表時間について

- ・ A～D 各発表15分、質疑応答 5分
- ・ E 各発表15分、質疑応答 5分ののち、意見交換等

受賞について

- ・ I 論文が各賞の受賞審査対象となり、閉会式にて発表されます (IIプロジェクト・技術報告は審査対象外)

■第32回技術研究発表会 I論文・IIプロジェクト・技術報告 発表・著者 一覧

Webinar

C:都市の再興・まちづくり D:プロジェクト・技術報告 (2)

ROOM3

発表No.	所 属	氏 名	タイトル	種別	査読部門
12:45 ~13:05	株式会社日建設計シビル	大川 雄三* 八木 弘毅	桜町・花畑周辺地区の官民連携による一体的な都市デザインの実践	I 論文	C
	株式会社日建設計	杉山 俊一 高橋 央			
	熊本大学	田中 智之 星野 裕司			
13:05 ~13:25	株式会社日建設計総合研究所	児玉 健*	生活支援施設立地からみた都市の集約化評価手法の基礎的研究	I 論文	C
	岡山市	中西 賢也			
	国土交通省国土技術政策総合研究所	新階 寛恭 勝又 斉 石井 儀光			
	公益社団法人日本交通計画協会	三浦 清洋			
	株式会社エイト日本技術開発	岡 亮介			
13:25 ~13:45	新潟県糸魚川市	齊藤 喜代志* 渡辺 茂	糸魚川市駅北大火からの復興まちづくり	I 論文	C
	独立行政法人都市再生機構	太田 亘			
5分					
13:50 ~14:10	独立行政法人都市再生機構	中川 玄斗*	まちづくりと一体となった日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」の整備	I 論文	C
14:10 ~14:30	ものつくり大学大学院	田尻 要 守家 和志 木村 奏太 新井 達也 鈴木 雅人* 中村 亮太	コロナ禍における観光地を包含した中山間地のレジリエンスに地域コミュニティが与える影響について～埼玉県長瀬町の事例～	I 論文	C
		埼玉県長瀬町			
14:30 ~14:50	独立行政法人 都市再生機構	三島 恵二郎*	ニューノーマルに向けた公園活用の新たな視点【実装に向けた方策検討】	II 報告	-

Webinar

E:共通セッション

ROOM4

発表No.	所 属	氏 名	タイトル	種別	査読部門
14:55 ~15:00	技術研究発表委員会・小委員会 (株)オリエンタルコンサルタンツ)	河野 俊郎*	共通セッション 趣旨説明	-	-
15:00 ~15:20	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	石川 美紀*	防災都市づくりの推進について(東京都を事例)	II 報告	-
15:20 ~15:40	株式会社日建設計シビル	大森 高樹*	地下空間施設に求められる防災・減災、維持管理、情報化、ウイルス感染対策についての考察	I 論文	B
15:40 ~16:00	大成建設株式会社	欄木 龍大* 廣石 恒二 佐藤 貢一	建物健全性評価支援システムの研究開発	I 論文	B
16:00 ~16:20	独立行政法人都市再生機構	松村 佳記*	災害復旧工事マネジメント業務による地方公共団体支援の仕組みづくりについて	I 論文	C
16:20 ~16:35	国土交通省	奥田 舘夫*	防災・減災を主流としたコンパクトシティの更なる推進	-	-
16:35 ~16:50	-		意見交換等	-	-

\*印：発表者 <敬称略>

発表順等詳細は変更になる場合があります

発表時間について

- ・A～D 各発表15分、質疑応答5分
- ・E 各発表15分、質疑応答5分ののち、意見交換等

受賞について

- ・I論文が各賞の受賞審査対象となり、閉会式にて発表されます (IIプロジェクト・技術報告は審査対象外)